

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 ジーエフシー株式会社

コード番号 7559 URL <http://www.gfc-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村公一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 飯尾照男

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

TEL 058-387-8181

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,740	△2.9	△71	—	△39	—	△75	—
22年3月期第2四半期	10,037	△4.7	△56	—	△23	—	△195	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△13.09	—
22年3月期第2四半期	△33.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	16,301	13,726	84.2	2,379.35
22年3月期	16,768	13,921	83.0	2,413.21

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 13,726百万円 22年3月期 13,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,719	1.7	567	△3.4	615	△5.2	334	67.0	58.03

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 5,769,040株 22年3月期 5,769,040株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 86株 22年3月期 86株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 5,768,954株 22年3月期2Q 5,768,954株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外の景気回復に伴う輸出拡大などにより、一時的には景気の持ち直しに兆しが見られたものの、急激な円高の進行、雇用環境や個人消費の停滞、国内市場のデフレ傾向など、経済環境の長引く低迷により依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、一部の外食業態に業績の回復は見られるものの、先行き不透明感から消費者の節約志向、中食・内食志向や低価格志向に大きな変化は見られず、引き続き厳しい環境の中で推移いたしました。

当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ）におきましては、消費者の節約志向に根ざした外食支出の伸び悩みに加え、継続するデフレ傾向、一部地域における天候不順や記録的な酷暑による市況の停滞等が、当社グループの販売に大きな影響をもたらしました。

このような状況の中、当社グループでは、市場競争力の高い商品の企画開発力の強化に注力すると共に、より一層きめの細かい営業活動を実施することにより、市場でのシェアアップに全力を傾けるとともに、国内外の新規販路開拓に取り組みました。また、中期計画の骨子でもあります収益構造の改革と新事業分野の開拓にも全社を挙げて取り組んでまいりました。しかしながら、これらの実施施策も、国内外の市場や景気の長引く停滞による売上減少分を補うには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、97億40百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業損失71百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）、経常損失39百万円（前年同四半期は経常損失23百万円）、四半期純損失75百万円（前年同四半期は四半期純損失1億95百万円）となりました。

セグメント別の売上状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 セグメント別売上高	前年同四半期比（%）
業務用加工食材	9,719	—
その他	21	—
計	9,740	—

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、163億1百万円（前連結会計年度末は167億68百万円）となり、4億66百万円減少いたしました。投資有価証券の増加（9億45百万円から16億1百万円、6億55百万円増）並びに商品及び製品の増加（8億55百万円から10億9百万円、1億54百万円増）があったものの、有価証券の減少（9億99百万円から0円、9億99百万円減）並びに現金及び預金の減少（51億55百万円から49億86百万円、1億69百万円減）が主な要因であります。

（負債の状況）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、25億75百万円（前連結会計年度末は28億46百万円）となり、2億71百万円減少いたしました。未払法人税等の減少（2億60百万円から9百万円、2億50百万円減）が主な要因であります。

（純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、137億26百万円（前連結会計年度末は139億21百万円）となり、1億95百万円減少いたしました。利益剰余金の減少（93億25百万円から91億5百万円、2億19百万円減）が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し49億86百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、2億99百万円（前第2四半期連結累計期間は1億43百万円支出）となりました。これは主に、減価償却費1億6百万円があったものの、法人税等の支払額2億51百万円及びたな卸資産の増加額1億58百万円により、資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、4億75百万円（前第2四半期連結累計期間は14億10百万円支出）となりました。これは主に有価証券の取得による支出16億99百万円及び投資有価証券の取得による支出7億円があったものの、有価証券の償還による収入27億円及び定期預金の払戻による収入2億円により、資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億44百万円（前第2四半期連結累計期間は1億44百万円支出）となりました。これは配当金の支払額1億44百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(A) たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(B) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ468千円増加し、税金等調整前四半期純損失は、14,673千円増加しております。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,986,755	5,155,922
受取手形及び売掛金	2,848,056	2,855,084
有価証券	—	999,835
商品及び製品	1,009,644	855,230
原材料及び貯蔵品	56,064	52,078
繰延税金資産	114,923	87,994
その他	50,001	92,027
貸倒引当金	△6,033	△8,030
流動資産合計	9,059,413	10,090,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,126,768	1,178,804
機械装置及び運搬具（純額）	216,681	243,034
土地	3,847,031	3,847,031
建設仮勘定	3,150	3,150
その他（純額）	46,011	57,873
有形固定資産合計	5,239,643	5,329,894
無形固定資産	59,768	66,917
投資その他の資産		
投資有価証券	1,601,554	945,586
繰延税金資産	68,590	48,729
その他	278,973	295,301
貸倒引当金	△6,279	△8,008
投資その他の資産合計	1,942,839	1,281,608
固定資産合計	7,242,252	6,678,420
資産合計	16,301,665	16,768,563

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,715,808	1,729,247
未払法人税等	9,847	260,417
賞与引当金	172,029	134,691
役員賞与引当金	2,275	6,435
その他	190,078	249,177
流動負債合計	2,090,039	2,379,968
固定負債		
退職給付引当金	181,493	175,163
役員退職慰労引当金	257,082	247,584
その他	46,632	44,132
固定負債合計	485,207	466,879
負債合計	2,575,247	2,846,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,344,021	2,344,021
資本剰余金	2,295,156	2,295,156
利益剰余金	9,105,816	9,325,606
自己株式	△105	△105
株主資本合計	13,744,889	13,964,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,470	△42,963
評価・換算差額等合計	△18,470	△42,963
純資産合計	13,726,418	13,921,715
負債純資産合計	16,301,665	16,768,563

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	10,037,575	9,740,080
売上原価	8,304,173	8,025,524
売上総利益	1,733,402	1,714,555
販売費及び一般管理費	1,790,246	1,785,718
営業損失(△)	△56,844	△71,163
営業外収益		
受取利息	15,748	14,371
受取配当金	1,789	1,958
有価証券売却益	—	459
受取賃貸料	7,582	7,482
その他	11,193	9,112
営業外収益合計	36,313	33,383
営業外費用		
支払利息	—	324
有価証券売却損	1,460	—
賃貸収入原価	1,731	1,652
営業外費用合計	3,192	1,977
経常損失(△)	△23,723	△39,756
特別利益		
固定資産売却益	—	22
貸倒引当金戻入額	—	3,725
特別利益合計	—	3,748
特別損失		
固定資産売却損	132	42
固定資産除却損	663	81
投資有価証券評価損	—	50,532
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,205
特別損失合計	796	64,860
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,519	△100,868
法人税、住民税及び事業税	6,119	4,140
法人税等調整額	164,477	△29,443
法人税等合計	170,597	△25,302
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△75,566
四半期純損失(△)	△195,117	△75,566

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,096,273	4,936,794
売上原価	4,223,698	4,067,968
売上総利益	872,574	868,825
販売費及び一般管理費	902,750	899,804
営業損失(△)	△30,175	△30,979
営業外収益		
受取利息	8,383	6,375
受取配当金	4	4
有価証券売却益	—	459
受取賃貸料	3,741	3,741
その他	3,181	4,633
営業外収益合計	15,310	15,213
営業外費用		
有価証券売却損	1,460	—
賃貸収入原価	875	882
営業外費用合計	2,335	882
経常損失(△)	△17,201	△16,648
特別利益		
固定資産売却益	—	22
貸倒引当金戻入額	—	1,797
特別利益合計	—	1,819
特別損失		
固定資産売却損	—	35
固定資産除却損	430	81
投資有価証券評価損	—	50,532
特別損失合計	430	50,648
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,631	△65,477
法人税、住民税及び事業税	2,427	2,071
法人税等調整額	166,990	△22,994
法人税等合計	169,418	△20,923
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△44,553
四半期純損失(△)	△187,049	△44,553

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,519	△100,868
減価償却費	122,114	106,185
賞与引当金の増減額(△は減少)	59,218	37,338
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,890	△4,160
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,273	6,330
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,331	9,498
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,462	△3,725
受取利息及び受取配当金	△17,528	△16,329
支払利息	—	324
有価証券売却損益(△は益)	1,460	△459
固定資産売却損益(△は益)	132	19
固定資産除却損	663	81
投資有価証券評価損益(△は益)	—	50,532
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,205
売上債権の増減額(△は増加)	△135,980	7,027
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,049	△158,399
仕入債務の増減額(△は減少)	202,022	△13,439
その他の資産の増減額(△は増加)	28,051	39,426
その他の負債の増減額(△は減少)	△83,738	△38,977
小計	127,024	△65,390
利息及び配当金の受取額	15,747	17,101
利息の支払額	—	△324
法人税等の支払額	△285,913	△251,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	△143,140	△299,771
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	—
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有価証券の取得による支出	△499,912	△1,699,920
有価証券の償還による収入	—	2,700,022
有形固定資産の取得による支出	△79,636	△25,571
有形固定資産の売却による収入	111	170
無形固定資産の取得による支出	△22,176	△1,668
投資有価証券の取得による支出	△309,553	△700,000
投資有価証券の売却による収入	—	2,000
長期貸付金の回収による収入	210	427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,410,957	475,460
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,000,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,000,000
配当金の支払額	△144,144	△144,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,144	△144,854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,698,242	30,833
現金及び現金同等物の期首残高	4,859,677	4,955,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,161,434	4,986,755

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

業務用加工食材の製造及び販売という単一事業であるため、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の100分の10未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業務別に本部を置き、各本部が連携をして包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は、業務別の本部を基礎とした製品・商品・サービス別のセグメントから構成されており、「業務用加工食材」を報告セグメントとしております。

「業務用加工食材」は水産加工品、農産加工品及び畜肉加工品の製造及び販売を行っております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	業務用加工食材		
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	9,719,048	21,031	9,740,080
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,719,048	21,031	9,740,080
セグメント損失(△)	△58,650	△12,512	△71,163

当第2四半期連結会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	業務用加工食材		
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	4,926,467	10,326	4,936,794
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,926,467	10,326	4,936,794
セグメント損失(△)	△25,895	△5,084	△30,979

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宅配事業であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
業務用加工食材 (千円)	183,686	—
その他 (千円)	—	—
合計 (千円)	183,686	—

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
業務用加工食材 (千円)	8,067,725	—
その他 (千円)	6,353	—
合計 (千円)	8,074,079	—

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
業務用加工食材 (千円)	9,719,048	—
その他 (千円)	21,031	—
合計 (千円)	9,740,080	—

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 季節的変動

当社グループの業務用加工食材事業では、主として第3四半期連結会計期間に宴会需要やおせち商材の販売が集中して発生するため、通常、第3四半期連結会計期間の生産実績、仕入実績及び販売実績は他の四半期連結会計期間と比べて高くなっております。